

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 26 年度第 2 回 議事録

担当 峯岸邦夫 (幹事)

日時	平成 26 年 7 月 8 日 (火) 14:00~17:00					場所	地盤工学会 会議室	
部長	佐藤 毅	○	★理事	大河原 正文	○	幹事	峯岸 邦夫	○
部員	浅田 素之	○	部員	伊貝 聡司	○	部員	長田 昌彦	×
部員	仙頭 紀明	○	★部員	高柳 剛	○	部員	塚本 良道	×
部員	浜田 英治	○	部員	平井 貴雄	×	部員	藤原 照幸	×
★部員	宗像 保男	○	オブザーバー	中川 直	○	前部長	竹下 祐二	○

★ : H26 年度新任 ○ : 出席予定 ☆ : 出席 (電子会議) ◎ : 代理出席 × : 欠席予定 △ : 未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-26.2.0	平成 26 年度 第 1 回基準部会議事録案
資料-26.2.1	地盤工学会基準の英訳に関するガイドライン, フロー
資料-26.2.2	基準英文フォーマット
資料-26.2.3	ガイドラインに関する意見
資料-26.2.4	基準の英訳作業優先順位表 (案)
資料-26.2.5	英訳見積書
資料-26.2.6	英訳実施委員の推薦者リスト (案)
資料-26.2.7	室内試験規格・基準委員会 平成26年度委員会, WGメンバーの変更
資料-26.2.8	基準部会 平成 26 年度構成案
資料-26.2.9	赤本改訂に向けたスケジュール検討 (素案)
資料-26.2.10	第 11 回 CEN/TC341/WG6 (室内土質試験) 会議参加報告
資料-26.2.11	理事会 (H26/5/16, 6/19 (書面会議)) 報告資料
資料-26.2.12	土木学会編「土質試験のてびき」へのデータシート添付のお願い
資料-26.2.13	ISO/TC190 海外出張
資料-26.2.14	第 49 回地盤工学研究発表会 DS1 プログラム
資料-26.2.15	室内試験規格・基準委員会 会員からの質問と回答
資料-26.2.16	地盤調査規格・基準委員会 WG3 H26 第 1 回 (5 月 26 日開催) 報告資料
資料-26.2.17	地盤調査規格・基準委員会 WG11 H26 第 1 回 (4 月 16 日開催) 報告資料
資料-26.2.18	地盤調査規格・基準委員会 会員からの質問と回答
資料-26.2.19	地盤材料試験に関する「技能試験」参加募集 (地盤工学会誌 6 月号掲載)
資料-26.2.20	地盤工学会 HP の更新作業
別添資料	過年度未払金
回覧資料 1	岩石および岩盤の一軸引張り試験方法基準化検討 報告書
回覧資料 2	過酸化水素水を用いる pH 試験方法基準化検討 報告書

審議事項

1. 前回議事録の確認

(資料-26.2.0, pp.1-6)

前回議事録(案)を原案通り承認した。

2. 全体関係

(1) 平成26年度基準部の活動について(継続)

①中期目標における基準の英文化に関する、地盤工学としての戦略に関して(資料-26.2.1, pp.7-9)

(資料-26.2.2, pp.10-19)

- ・地盤工学会基準の英訳に関するガイドライン(案)が示され、基本的留意事項は、規定を表す言葉の表現型式はJIS Z 8301:付属書H(規定)を参考にすること、日本語のオリジナル基準の内容を変えるような加筆・修正を行ってはならないこと、また、地盤工学に関する専門用語は、地盤工学用語辞典、その他学会が必要と認めた資料を参照することが説明された。
- ・地盤工学会基準の英訳のフローが示され、フロー中の基準部実行委員会は竹下委員長、三村副委員長、仙頭幹事他基準部部員で構成されることが説明された。また、同フロー中のDRAFT提出時には実施委員が簡単なチェックを行うことと説明があった。

(資料-26.2.3, pp.20-23)

- ・地盤工学会基準の英訳に関するガイドライン(案)について、地盤調査規格・基準委員会WG5から前出のガイドラインとフローの間に表現の差異があることが指摘されたため、ガイドライン(案)、フローについては、再検討することになった。

(資料-26.2.4, pp.24-25)

- ・地盤調査関係の地盤工学会基準・JIS規格の英訳作業優先順位表(案)が示され承認された。

(資料-26.2.5, pp.26-40)

- ・地盤工学会基準の英語翻訳作業の優先順位別見積書について、年度ごとの翻訳と印刷製本の費用が事務局より説明があった。

(資料-26.2.6, p.41)

- ・地盤工学会基準の英訳実施委員の推薦者(案)〈地盤調査規格・基準委員会〉について佐藤委員長より説明があり、承諾の有無については順次確認中とのことであった。また、試験法関係については、藤原委員に確認するとのことであった。

②試験基準のISO化に際しての確認事項に関して

③その他

理事会報告 3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

①室内試験規格・基準委員会・WG名簿

(資料-26.2.7, pp.42-48)

- ・WG1, WG10のメンバーは現状維持。
- ・WG6の幹事に平川大貴氏が就任。
- ・WG13, WG14については今年度から活動開始。

(2) 地盤調査規格・基準委員会

(3) ISO国内委員会

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

(6) 技能試験実施委員会

(7) 部員の異動

①平成26年度基準部会構成案

(資料-26.2.8, p.49)

- ・平成26年度構成案について、一部所属先の名称等の誤りがあったため、修正後承認された。

4. ISO国内委員会 関係

5. 地盤工学表記法委員会 関係

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

(1) 赤本改訂スケジュール素案

(資料-26.2.9, p.50)

- ・原案通り承認され、平成 27 年に予算取りをすることになった。
- (2) CEN/TC341/WG6 の会議報告、(ISO_DIS_17892_3, ISO_DIS_17892_4) について (意見照会)
 - 注) H26 年 10 月開催 CEN/TC/WG6 会議に向けて、次回 ISO 規格に対する意見照会 (投票も含む)。
(資料-26.2.10, pp.51-78)
- ・室内試験委員会メンバーには 7 月末締切りで意見照会中、基準部会メンバーでも気になることがあれば 7 月末締切りで意見を頂きたいとのことであった。
- (3) 岩石および岩盤の一軸引張り試験方法基準化検討 報告書 (回覧資料 1)
- (4) 過酸化水素水を用いる pH 試験方法基準化検討 報告書 (回覧資料 2)

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

9. 技能試験実施委員会 関係

10. 基準部所管刊行物

11. その他

- (1) 過年度未払金 (別添資料)
 - ・支払いが遅れていた原稿料, 校正費等について対応した。

報告事項

1. 理事会 (H26/5/16, 6/19 (書面会議)) 開催報告 (資料-26.2.11, pp.79-88)

- ・佐藤委員長より第 2 回理事会, 第 4 回理事会【書面審議】についての報告があった。

2. 全体関係

- (1) 土木学会編「土質試験のてびき」へのデータシート添付 (資料-26.2.12, pp.89-91)
 - ・佐藤委員長よりデータシートの添付を許可したとの報告があった。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 26 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	100 万円		○		
・三菱総合研究所 (回答作成)	0 万円		○		
・三菱総合研究所 (旧重点TC旅費)	0 万円		○		
・日本建設業連合会	50 万円		○		
・ISO/TC190 関係 (研究委託)	50 万円		○		
・三菱総合研究所 (国際標準開発事業)		970 万円	○		
小計	200 万円	970 万円			
合計	1170 万円				

理事会報告 ② 国際会議派遣 (資料-26.2.13, p.92)

- ・6/1~6/5 の出張について報告された。
- ③ 第 49 回地盤工学研究発表会 DS1 プログラム (資料-26.2.14, p.93)
 - ・7/15, 16:30~18:00 の日程で行われる旨, 報告があった。

(2) 地盤工学表記法委員会

(3) 室内試験規格・基準委員会

- ① 会員からの質問と回答 (資料-26.2.15, pp.94-110)
 - ・過酸化水素水を用いる pH 試験方法, 他 6 件についての会員からの質問とそれぞれに対する回答が報告された。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

- ① WG3 活動報告 (資料-26.2.16, pp.111-114)

・5/26のWGと同日に開催された講習会について報告され、地盤工学会旅費支給規定の改正についての意見も添付されていた。

② WG11 活動報告 (資料-26.2.17, pp.115-126)

・4/16のWGについて報告があった。

③ 会員からの質問と回答 (資料-26.2.18, pp.127-130)

・SPT standards (specifications) in different countries, 他2件についての会員からの質問とそれぞれに対する回答が報告された。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

(6) 技能試験実施委員会

理事会報告 ①「技能試験」参加募集 (資料-26.2.19, pp.131-133)

・参加募集についての案内があった。

(7) 販売促進WG

(8) 英文HP

①和文HPの更新作業 (資料-26.2.20, pp.134-137)

・HP更新作業について、各委員会で更新内容を事務局へ提出後、一括して高柳委員が更新を行う。

・基準の一覧表については、特に訂正の申し出がなかったので、そのまま掲載する。

(9) 調査研究委員会企画案(地下水関係)

4. 日本工業標準調査会 土木部会

●H26年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	佐藤 毅	5/2, 7/8
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 木幡 行宏 川端 淳一 坂井 宏行 宮田 喜壽	・ ・ 4/23, 7/8
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 バンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 岩石の繰返し強度試験方法基準化 WG ・WG13 岩石の一軸引張試験基準化 WG ・WG14 過酸化水素水による土および岩石の酸性化可能性試験方法基準化 WG	川崎 了 (小口和明) (肴倉宏史) (大向直樹) (片岡沙都紀) (藤岡一頼) 木幡 行宏 山下 聡 大島 昭彦 伊藤 洋 谷 和夫 川地 武	6/20 6/ 11, 7/31 7/3, 9/4 7/28

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 載荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査 ・WG10 不飽和地盤における現場飽和透水係数の測定方法（仮称） ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG12 解散 ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG ・WG14 単孔を利用した地下水流向流速測定方法の新規基準化WG	利藤 房男 斉藤 秀樹 正垣 孝晴 中村 裕昭 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 伊藤 高敏 進士 喜英	 5/26, 4/16 6/23, 9/29 5/29,
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	木幡 行宏 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	大島 昭彦	4/9, 7/10
技能試験実施委員会	日置 和昭	

5. その他

- 1) 理事会（平成26年 7月24日（木））への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成 26 年 6 月 3 日（火）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日

- ・ 26年度第3回：第1案 平成 26 年 9 月 2 日（火） 14:00～
第2案 平成 26 年 月 日（ ） 14:00～
（対応理事会 H26.9.26 or H26.10.22 ）
- ・ 26年度第4回：平成 26 年 11 月 日（ ） :00～
（対応理事会 H26.11.28 or H26.12.24 ）

4) 土質試験・地盤調査基準の英文化に関する寄付金について

（別添資料）

- ・ 基準英文化に関する寄付金の依頼状および依頼先（案）が報告され、佐藤委員長が次回理事会で協力の要請をすることになった。
- 5) 日特建設からのグラウンドアンカーの基準翻訳の問合せについて
 - ・ 翻訳した基準は、社内研修用として使用するため販売はしないとのことであった。
 - ・ 翻訳に関する費用は日特建設の負担で、英文の著作権は日特建設、和文の著作権は地盤工学会とし、学会で英文化したものを販売するときは、翻訳料を支払うことで可能になるよう覚書を交わす。
 - ・ 翻訳に当たり、英訳化のガイドラインに沿って行ってもらうことと、寄付の依頼をする。

★ 平成 26 年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4 月 23 日（水） ※書面審議
- ② 5 月 16 日（金）
- ★ 6 月 12 日（木） 総会／理事会
- ③ 6 月 19 日（木） ※書面審議
- ④ 7 月 24 日（木）
- ⑤ 9 月 26 日（金）

- ⑥ 10月22日(水) ※書面審議
- ⑦ 11月28日(金)
- ⑧ 12月24日(水) ※書面審議
- ⑨ 1月30日(金)
- ⑩ 2月19日(木) ※書面審議
- ⑪ 3月13日(金)

-
- ⑫ 4月22日(水) ※書面審議
 - ⑬ 5月15日(金)
 - ★ 6月11日(木) 総会/理事会